令和 元 年度事業 事後評価·決算 事務事業マネジメントシート

Iuli	事務事業名	食の幸発信施設整	備事業	所属部	産業観光部	所属課 商工振興課
総	政策名	〈V〉挑戦し活力を産る	みだすまち≪産業≫	所属G	地域産業支援G	課長名 森山 幸雄
総合	施策名	〈33〉地域資源を活か	した産業の創出	坦 4 4 4	加藤雄二	電話番号 0854-40-1052
計	日谷	等事業所(者)	意 新分野進出、新商品開発をする。	担当有有	加膝趾—	(内線) 2442
画	的 家	4 7 5/4/5/(日)		予算科目	会計 款 大事業 大	事食の幸発信推進事業
体		名 〈096〉新商品の販路開拓支援		J' #14 D	0 1 3 5 1 6 業	名
系)事業所(者)	意 新商品を販売する。 図		項 目 中事業 中 0 5 1 0 0 2 業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 □ 単年度のみ □ 単年度繰返 (年度~) □ 期間限定複数年度 (R1 年度~ R5 年度) ② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) ○ 電売事の農業長限 金間事産業の強化

- ○雲南市の農業振興、食関連産業の強化、 交流人口の拡大を目指して拠点施設を整備 する。
- ○場所は木次道の駅の北側の空き地を予定 し、既存の道の駅と合わせてその機能を発揮 できるよう整備する。 ○拠点施設、トイレ棟、園芸ハウス、駐車場、

(2)事務事業の手段・指標

(2) 事務事未の于段 相係									
	① 主な活動								
	R元年度実績(R元年度に行った主な)	舌動)		R2年度	t計画(R2年度	に計画する主	な活動)		
	○造成設計、測量業務の発注			〇用地測量の発注					
	○建築基本設計の発注		⇒用地買収						
			○ 用地質収 ○建築実施設計の発注						
_				○建築英施設前の先注 ⇒建築確認申請、適合性判定等					
手		→煙米曜島中間、週日に刊足寺 ○地盤調査の発注							
段			○土地評価業務の発注						
					忍可業務資料) 泰注		
					心可未勿負ャ 業認定申請、				
				7 77 2	木心化 中 明、	別元リ何中	門		
	②活動指標	*** / 1	H29	年度	H30年度	R元年度	R2年度		
		単位		績)	(実績)	(実績)	(計画)		
7	建築基本設計	件				4			
,	建架基本設計	11+				'			
1	建築実施設計	件					1		
	医未关心故可	П					'		
ъ	用地買収	ha					1		
	/11/05 x 1X	Πα							
ェ	工事	件							
		''							

(3)事務事業の目的・指標

アクセス道路を整備する。

(,	3) 事務事果の日的 情憬							
	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	市民	ア	人口	人	37,794	37,012	36,248	37,004
	施設利用者	イ	観光入込客数	千人	1,389	1,297	1,457	1,360
目		ゥ						
的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	雲南市の食をPRするとともに販売する施設を整備する	ア	事業進捗率	%		2	13	34
		イ						
		ウ						

(4)事務事業のコスト

(4) 事份争未のコヘト								
① 事業費の内訳 (1年度決算)		2	コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
委託料 22,055千円		п.	国庫支出金	千円				
○建築基本設計 6,226千円	=	財源	県支出金	千円				
○造成測量設計 15,829千円	事		地方債	千円			15,800	102,400
財源:過疎債	書	訳	その他	千円			4,000	4,600
	ຸ	пΛ	一般財源	千円	0	0	2,255	
			事業費計(A)	千円			22,055	107,000
	人	<u>[</u>	正規職員従事人数	人	0	0	1	
	件		延べ業務時間	時間	150	150	150	
	費		人件費計(B)	千円	612	650	636	_
		Ļ	-タルコスト(A)+(B)	千円	612	650	22.691	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

○立士主衆の人口とない。 バル っさ分子	١
時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	
象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始	
① 境児変化 (この事務事業を取り巻く状況(対	

② 改革改善の経緯

(この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?) ③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

○産直事業の全国的なトレンドとして店舗面 積が増え、多様な機能が付帯するようになっ ている。一方で関西での販売は堅調だが、市 内産直市の販売額の減少が著しい。

内産直市の販売額の減少が著しい。 〇市内にドラックストアなど大手小売店が多く 進出してきた。そこでは市内メーカーの商品 の販売が難しい。

〇H30年度に事業予定者を選定し、その後、事業を運営する視点でハード整備を含めた計画づくりに参画している。このことによって精度の高い施設になると想定している。

○地元に売れる産直売場が欲しいとの意見がある。一方で既存の売場の売上が低迷しているため、 その存続を侵すものにならないかとの懸念。

〇イチゴ狩りや尺の内農園をはじめとした隣接エリアとの連携により、体験交流ゾーンとして期待する 意見がある。

所属部 産業観光部

所属課 商工振興課

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	尹1友	:評価【SEE】					
		対策体系との整合性	この事務事業の目	的は市の政策体	系に結びつくか?	意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由
		□ 見直し余地がある	る 🔽 約	びついてい	<u>る</u>	* 余地がある場合 💳	
A		30EG/(*B# 0)	- "	.0 - 1 (1	•		
目	② 公	公共関与の妥当性	なぜこの事業を市た	バ行わなければか	ならないのか?税	金を投入して達成する目的か?	i l
的	Г	見直し余地があ		当である		* 余地がある場合	<u> </u>
妥	_	一元直し示地がめ	o 1 3			,	
当	③ 対		対象を限定・追加	する必要はない	かっ音図を限定。		İ
性	_		_		70 . 心凹已放入	* 余地がある場合	1
		見直し余地がある	o <u>I</u> ™	切である		- X-5% 65 @ g = -	1
	(4) ft	プログロ 日本地 日	プ里を向 トキサス全地	けあろか? 成具	里を向 トさせスた	め現在上り良いやり方けけないか? 何:	! が原因で成果向上が期待できないのか?
		向上余地がある	スと同土ことも水池			るよう関係者との連携を深め、	
		□ 向上余地がない			3% 67K (6		
	1	1-1 <u>- 1</u> 1-1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		理由			
	⑤ 盛	産止・休止の成果へ	の影響 この事務	車 業 友	止した場合の影響	響の有無とその内容は?	
		<u>・ </u>	<u> </u>			-	集備をすすめており、中止となれば、参
В		- 影響有 - 影響有		画		に大きな影響がでる。	中間と チェン という、 中土となれば、 シー
有	Į¥	小型口				れこれとない音がです。 る農産物販売額の減少傾向が	である。
効					旦事末に6517	3展在初級儿頭07減少國門7	文に進む。
性	⑥ 粗	質似事業との統廃合	・連進の可能性	日的達成には	- の事務事業以め	の手段(類似事業)けないか? ある場合	その類似事業との統廃合・連携ができるか?
		他に手段がある		(具体的な手)		の子校(規模事業/はないが: める場合、	この投資事業との制度日、建協が、このが・:
	_	□ () () () () () () () () ()		や類似事業名			
		-	連携ができない			関する実施設計等の委託業務	たので 他に恋えられたい
		190000	2000		ではいるが四日又「つ	以 , 0 天他改而 中 0 安 cc 未 7.	なので、個に変だられがない。
	L.	7 他に手段がない		理由			
	Į.	- IEIC 1 1277 '60'					
	(7) 事	事業費の削減余地 の制減余地	成単を下げずに事	上 業費を削減できた	いか?(什様や	 工法の適正化、住民の協力など)	
	_						HI (穴)は1-女2 小 7
		▲ 削減余地がある		領:	学者の削減に	【難しいが、工事の手法等を検え	いし、顔似に劣のる
_		削減余地がある削減余地がない			栄食の削減は	「難しいが、工事の手法等を検討	いし、船派に分める
C		ℓ 削減余地がある 削減余地がない		理由	架負の削減1。	「難しいが、工事の手法等を検討	引し、相談(一分の)
C 劾					栄食の削減は	(難しいが、工事の手法等を検	引し、順別に労める
効		削減余地がない	間)の削減余地	理由			
効 率		削減余地がない 、件費(延べ業務時	間)の削減余地	理由成果を下げず	にやり方の工夫・	で延べ業務時間を削減できないか? 正	職員以外や外部委託ができないか?
効	8 人	削減余地がない (件費(延べ業務時 削減余地がある	間)の削減余地	理由 成果を下げず	にやり方の工夫・	で延べ業務時間を削減できないか? 正	
効 率	8 人	削減余地がない 、件費(延べ業務時	間)の削減余地	理由成果を下げず	にやり方の工夫・	で延べ業務時間を削減できないか? 正	職員以外や外部委託ができないか?
効 率	8 人	削減余地がない (件費(延べ業務時 削減余地がある	間)の削減余地	理由 成果を下げず	にやり方の工夫・	で延べ業務時間を削減できないか? 正	職員以外や外部委託ができないか?
効率性	8 人	削減余地がない 、件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない		成果を下げず	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。
効率性 D	8 人	削減余地がない <u>件費(延べ業務時</u> 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担	の適正化余地	理由成果を下げず必要申	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ のででではないか? 受益者負	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か?
効率性 D公	8 人	削減余地がない <u>件費(延べ業務時</u> 削減余地がある 削減余地がない <u>登益機会・費用負担</u> 見直し余地があ	の適正化余地 る	理由 成果を下げず 必 望由 事業内容が一部 より	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か?
効率性 口公平	8 人	削減余地がない <u>件費(延べ業務時</u> 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担	の適正化余地 る	理由成果を下げず必要申	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ のででではないか? 受益者負	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か?
効率性 D公	8 人	削減余地がない <u>件費(延べ業務時</u> 削減余地がある 削減余地がない <u>登益機会・費用負担</u> 見直し余地があ	の適正化余地 る	理由 成果を下げず 必 望由 事業内容が一部 より	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ のででではないか? 受益者負	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か?
効率性 D公平性	8 人	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である	の適正化余地 る o	理由 成果を下げず 必 望由 事業内容が一部 より	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ っていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく
効率性 D公平性 D公平性	8 人	削減余地がない <u>件費(延べ業務時</u> 削減余地がある 削減余地がない <u>登益機会・費用負担</u> 見直し余地があ	の適正化余地 る o	理由 成果を下げず 必 望由 事業内容が一部 より	にやり方の工 <u>夫</u> 要最低限の人 駅の受益者に偏っ	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ っていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく
効率性 D公平性 評	图 人	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての言	の適正化余地 る 。 平価結果	理由 成果を下げず 必 望由 ま業内容が一計 よい 理由	にやり方の工夫で要最低限の人 要最低限の人 部の受益者に偏っ り多くの市民等	で延べ業務時間を削減できないか? 正 員及び業務時間で業務を行っ っていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近
効率性 D公平性 評価	⑧ 人□ ✓□ ✓□ A	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての記 目的妥当性	の適正化余地 る 。 平価結果 ▼ 適切	理由 成果を下げず 必 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	にやり方の工夫で要最低限の人部の受益者に偏っ 対多くの市民等	で延べ業務時間を削減できないか? 正、 員及び業務時間で業務を行っ っていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって 年、建築コストが大きく上昇)	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近しているが、その中で可能な限りコストが
効率性 D公平性 評価の	8 人 「V 9 受 「V	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての 目的妥当性 日有効性	の適正化余地 る か 平価結果 「▼ 適切 「 適切	理由 成果を下げず 必 理由 事業内容が一段 よい 理由 見直し余	にやり方の工夫で要最低限の人部の受益者に偏っり多くの市民等地あり は地あり	で延べ業務時間を削減できないか? 正、 員及び業務時間で業務を行っ のていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって 年、建築コストが大きく上昇し 上がらないよう、事業を工夫	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近しているが、その中で可能な限りコストがする。本事業は多くの農家の所得向上
効率性 D公平性 評価の総	⑧ 及⑨ 受□ A B C	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない を益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての には、自力的性 には、自力的性 に対率性	の適正化余地 る マ価結果 「適切」 「適切」	理由 成果を下げず必 理由 事業内容が一より 見直 直ししし 分 余余 テレー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティ	にやり方の工夫で要最低限の人類の受益者に偏っ 対多くの市民会 地あり は地あり は地あり	で延べ業務時間を削減できないか? 正、 員及び業務時間で業務を行っ のていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって 年、建築コストが大きく上昇し 上がらないよう、事業を工夫	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近しているが、その中で可能な限りコストが
効率性 D公平性 評価の	⑧ 及⑨ 受□ A B C	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない 登益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての 目的妥当性 日有効性	の適正化余地 る か 平価結果 「▼ 適切 「 適切	理由 成果を下げず 必 理由 事業内容が一段 よい 理由 見直し余	にやり方の工夫で要最低限の人類の受益者に偏っ 対多くの市民会 地あり は地あり は地あり	で延べ業務時間を削減できないか? 正、 員及び業務時間で業務を行っ のていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって 年、建築コストが大きく上昇し 上がらないよう、事業を工夫	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近しているが、その中で可能な限りコストがする。本事業は多くの農家の所得向上
効率性 D公平性 評価の総	⑧ 及⑨ 受□ A B C	削減余地がない 件費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない を益機会・費用負担 見直し余地がある 公平・公正である 次評価者としての には、自力的性 には、自力的性 に対率性	の適正化余地 る マ価結果 「適切」 「適切」	理由 成果を下げず必 理由 事業内容が一より 見直 直ししし 分 余余 テレー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティー・ティ	にやり方の工夫で要最低限の人類の受益者に偏っ 対多くの市民会 地あり は地あり は地あり	で延べ業務時間を削減できないか? 正、 員及び業務時間で業務を行っ のていて不公平ではないか? 受益者負 等への支援になるよう計画内容 ② 1次評価結果の総括(根 検討時間は非常にかかって 年、建築コストが大きく上昇し 上がらないよう、事業を工夫	職員以外や外部委託ができないか? ているので、人件費の削減余地はない。 担が公平・公正か? を吟味していく 拠と理由) いるが目的については一貫している。近しているが、その中で可能な限りコストがする。本事業は多くの農家の所得向上

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
原止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連携 ☑ 事業のやり方改善(有効性改善) □ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
本年は建築実施設計等を行い、非常に時間のかかる申請手続きも実施する。6月補正での予算化であり、時間がないところであるので、手戻りなく効率的にすすめていきたい。また、令和4年度の竣工、オープンも見えてきたので市民の皆様に期待いただける施設になるよう情報発信も積極的に実施していく。	向 上 成維 果 括 低 ×
	下
	コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。